

2015年11月24日、神奈川県平塚土木事務所主催の国道134号線唐ヶ原の海岸砂防林植樹が実施されました。今回は、地元の[平塚市立なでしこ小学校](#)の「植樹体験教室」としても企画され、同校5年生約80名の子供達も参加し賑やかなイベントとなりました。海岸沿いの厳しい環境にも耐え、砂や風に加えて地震や津波災害にも効果を発揮する防災林を目指し、7種類の樹種を選定して合計525本の苗木を植えることが出来ました。



植樹&稲わら敷詰（マルチング）作業



平塚土木事務所と進和学園との連携は、2009年にスタートし6年目を迎えています。国道134号線の相模湾沿岸を中心に植樹地を確保頂き今回で7回目、唐ヶ原では昨秋に続いて2回目です。有難いことに今回も、進和学園が栽培した苗木をご利用頂き、400本は優先発注（注）頂いたものです。残りの125本は、[進和学園「いのちの森づくり基金」](#)を活用しての植樹となります。

児童の皆さんは、2組に分かれ植樹・稲わら敷詰（マルチング）・縄掛けの作業に、一生懸命取り組んでくれました。「植樹体験教室」は、自然環境の保全や防災の大切さを学ぶ貴重な機会となったのではないのでしょうか？

[平塚市立なでしこ小学校「植樹体験教室」教材](#)

(注) 官公需の優先発注

国・県等の行政・公共団体が障害者が働く福祉施設等から積極的な物品購入や業務発注を求める「[障害者優先調達推進法](#)」が制定されています。同法に基づく

「官公需の優先発注」が、障害者の自立・就労支援にとって重要な課題とされています。

平塚土木事務所主催の一連の砂防林植樹では、進和学園メンバーが手掛けた苗木（累計1,600本）や資材を優先発注頂いており、心より感謝申し上げます次第です。



貴重な植樹体験 子供達の未来に向けて